

人間科学・基礎看護学

人間科学(1)研究室

教授 落合 宏

◆ 原 著

- 九十九由美子, 後藤みち子, 高間静子: 患者が表出した言葉から分析した看護婦の言動に対する不満の質の分析, 第26回日本看護研究学会学術集会, 2000, 7, 千葉.
- 6) 小澤明子, 高島佐知子, 高間静子: 病院面会患者の感染防御行動測定尺度の試み, 第26回日本看護研究学会学術集会, 2000, 7, 千葉.
- 7) 太田晴美, 白井由美子, 高田久美子, 猪山美保, 上山 信, 牧野昌美, 橋本喜久枝, 塚原節子: 当院医療従事者と患者およびその家族の介護保険制度の理解度の比較, 第26回日本看護研究学会学術集会, 2000, 7, 千葉.
- 8) 谷川静子, 保里恭子, 平崎弘美, 石 絹子, 西田美和子, 石田みどり, 塚原節子: 病室の窓から見える景色が患者の快・不快感情に与える影響, 第26回日本看護研究学会学術集会, 2000, 7, 千葉.
- 9) 八塚美樹, 高間静子: 子供の自立の発達過程についての文献的考察—健康な幼児における基本的生活の自立に焦点をあてて—, 第1回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 2000, 10, 富山.
- 10) 新谷恵子, 高間静子: 糖尿病患者のセルフケア測定尺度作成の試み, 第1回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 2000, 10, 富山.
- 11) 新谷恵子, 高間静子: 透析患者のセルフケアの発達過程, 第1回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 2000, 10, 富山.
- 12) 高間静子, 新谷恵子: 健康成人のセルフケア測定尺度の作成の試み, 第20回日本看護科学学会学術集会, 2000, 12, 東京.
- 13) 塚原節子, 高島佐知子: 整形外科外来受診患者の受診決定時における意思決定規定要因に関する研究, 第20回日本看護科学学会学術集会, 2000, 12, 東京.
- 14) 新谷恵子, 高間静子: 人工透析患者のセルフケア尺度作成の試み, 第20回日本看護科学学会学術集会, 2000, 12, 東京.
- 1) Mantani N., Andoh T., Kawamata H., Terasawa K., and Ochiai H.: Inhibitory effect of *Ephedrae herba*, an oriental traditional medicine, on the growth of influenza A/PR/8 virus in MDCK cells. *Antiviral Res.*, 44 : 193-200, 1999. (昨年度未記載分)
- 2) Kogure T., Fujinaga H., Niizawa A., Le Xuan Hai, Shimada Y., Ochiai H., and Terasawa K.: Killer-cell inhibitory receptors, CD158a/b, are upregulated by interleukin-2, but not interferon- γ or interleukin-4. *Mediators of Inflammation*, 8 : 313-318, 1999. (昨年度未記載分)
- 3) Sakai S., Kawamata H., Mantani N., Kogure T., Shimada Y., Terasawa K., Sakai T., Imanishi N., and Ochiai H.: Therapeutic effect of anti-macrophage inflammatory protein 2 antibody on influenza virus-induced pneumo-nia in mice. *J. Virol.*, 74 : 2472-2476, 2000.
- 4) Kawamata H., Ochiai H., Mantani N., and Terasawa K.: Enhanced expression of inducible nitric oxide synthase by Juzen-Taiho-To in LPS-activated RAW264.7 cells, a murine macrophage cell line. *Am. J. Chinese Med.*, 28 : 217-226, 2000.
- 5) Kishimoto C., Kawamata H., Sakai S., Shinohara H., and Ochiai H.: Role of MIP-2 in coxsackievirus B3 myocarditis. *J. Mol. Cell Cardiol.*, 32 : 631-638, 2000.
- 6) Kishimoto C., Takamatsu N., Kawamata H., Shinohara H., and Ochiai H.: Immunoglobulin treatment ameliorates murine myocarditis associated with reduction of neurohumoral activity and improvement of extracellular matrix change. *J. Am. Coll. Cardiol.*, 36 : 1979-1984, 2000.
- 7) 高松奈美, 塚田トキエ, 今西信子, 三善郁代, 馬竹美穂, 落合 宏: ウイルス性心筋炎に対する免疫グロブリン療法—母子感染看護の視点から—. *富山医薬大看護学会誌*, 3 : 141-152, 2000.

◆ 学会報告

- 1) 稲垣邦代, 水上由紀, 安田智美, 青木詩恵, 梶原睦子, 馬竹美穂, 落合 宏, 田澤賢次, 沼田悟: 皮膚保護剤の物性と機能の研究—特にSIS配合成分と静菌作用の関係について—. 第17回日本ストーマリハビリテーション学会, 2000, 2, 新潟.
- 2) 小林英俊, 戸前昌樹, 高野克彦, 落合 宏, 中川秀夫: マウス・マクロファージが産生する好中球走化性因子の精製. 第21回日本炎症学会, 2000, 7, 東京.
- 3) 辻 由美子, 今西信子, 鴻巣聡子, 萬谷直樹, 寺澤捷年, 馬竹美穂, 落合 宏: 緑茶抽出液のインフルエンザウイルス増殖抑制作用について. 第37回日本細菌学会中部支部総会, 2000, 9, 岐阜.
- 4) 三善郁代, 今西信子, 高松奈美, 萬谷直樹, 大平安夫, 渡辺雅孝, 武山雅英, 落合 宏: マイタケ子実体MD分画の一酸化窒素産生誘発と抗腫瘍活性に関する研究. 第37回日本細菌学会中部支部総会, 2000, 9, 岐阜.
- 5) 小暮敏明, 新沢 敦, 嶋田 豊, 寺澤捷年, 落合 宏: 十全大補湯のKIRsの発現に対する影響. 第17回和漢医薬学会, 2000, 9, 名古屋.
- 6) 萬谷直樹, 酒井伸也, 寺澤捷年, 今西信子, 落合 宏: 麻黄の液胞酸性化阻害作用とインフルエンザウイルスA/PR/8株増殖抑制作用. 第17回和漢医薬学会, 2000, 9, 名古屋.
- 7) 今西信子, 鴻巣聡子, 萬谷直樹, 寺澤捷年, 落合 宏: インフルエンザウイルス感染マクロファージにおける誘導型一酸化窒素(NO)合成酵素とNO産生誘発について. 第48回日本ウイルス学会学術集会・総会, 2000, 10, 津.
- 8) 岸本千晴, 黒川 宏, 落合 宏: ウイルス性心筋炎におけるサイトカイン・NK活性及びLAK活性の意義. 第48回日本ウイルス学会学術集会・総会, 2000, 10, 津.
- 9) 今西信子, 鴻巣聡子, 馬竹美穂, 太田久美, 三善郁代, 下島千枝, 高松奈美, 落合 宏: 緑茶によるインフルエンザウイルス増殖抑制について. 第1回富山医薬大看護学会学術集会, 2000, 10, 富山.
- 10) 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 田澤賢次, 落合 宏: 静菌作用からみた皮膚保護剤の選択と使用方法について. 第1回富山医薬大看護学会学術集会, 2000, 10, 富山.
- 11) 今西信子, 三善郁代, 大平安夫, 渡辺雅孝, 武山雅英, 鴻巣聡子, 田澤賢次, 落合 宏: マイタケ子実体MD分画の一酸化窒素産生誘発と抗腫瘍

活性に関する研究. 第3回日本補完・代替医療学会学術集会, 2000, 11, 東京.

◆ その他

- 1) 落合 宏: インフルエンザ感染とサイトカイン応答. 日本醫事新報, 3965: 111-112, 2000.
- 2) 落合 宏, 今西信子, 萬谷直樹, 寺澤捷年, 落合 宏: 麻黄のインフルエンザウイルス増殖抑制作用に関する研究. 平成11年度受託研究, 和漢薬・バイオテクノロジー研究成果報告書, 56-61, 2000.